

令和3年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59時まで）
 夕方（14：00から17：59時まで）、夜（18：00から21：59時まで）、
 深夜（22：00から1：59時まで）、早朝（2：00時から5：59時まで）

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所（鳴動場所）	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
1	1	14:30	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	ガスコンロの消し忘れ（非火）	居住者が台所でフライパンを一口コンロの火にかけたまま、居間で寝てしまったため、内容物が焦げて煙が部屋に充満し、住宅用火災警報器が発報。警報音で目が覚めた居住者がガスコンロの火を止め、火災には至らなかった。上階の客人が臭いと煙に気づき、下階の確認をした後、消防に通報したものの。
2	1	17:59	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き（非火災）	居住者が調理中にIHクッキングヒーターから目を離したことから鍋が空焚き状態となり、室内に白煙が充満。住宅用火災警報器が鳴動したことにより居住者が気づき警察へ通報。警察経由で消防への通報、覚知に至る。
3	1	16：35頃	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	たばこ	居住者	たばこの不始末	居住者が入浴中に、住宅用火災警報器が吹鳴しているのに気が付き、周囲を確認したところ、台所のシンク内のゴミ箱に捨てたたばこの吸い殻が燃っていて煙が出ていたのを発見したものの。家人により水道水をかけて消火し大事に至らなかったもの。
4	1	19:26	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	鍋の空焚き（非火災）	発見者（1101号室）は、風呂場でお湯を沸かしていたところ、住宅用火災警報器の鳴動を確認したことから、鍋の空焚きを発見し、コンロの火を止めるとともに玄関ドア及びベランダ窓を開放して換気を行った。なお、台所及び居間に住宅用火災警報器が設置されていたが、どちらが鳴動していたかは不明である。通報者は（1104号室）は、隣接（1105室）の居住者が自宅にいたところ、焦げ臭い臭気を感じ通報を依頼されたものの。
5	4	23:45頃	深夜	戸建住宅	煙式	就寝室	就寝室	不明	居住者	不明	1階にいた居住者が住宅用火災警報器の鳴動音に気が付き、2階の子供部屋に行き居室内のパネルヒーター及び付近の壁面が燃えているのを発見し119番通報後、初期消火したものの。
6	4	12:15	昼	戸建住宅	煙式	台所	階段	こんろ	居住者	天ぷら油の過熱発火	天ぷら油を火にかけたまま物を取りに行き、火をつけていることを忘れて用事を足していたところ、 階段に設置した住宅用火災警報器が鳴動したことから 、台所に戻ったところ、鍋から炎が立ち上がっているのを発見し、エアゾール式簡易消火具で消火し、119番通報したものの。
7	1	18:00	夜	戸建住宅	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	調理中眠ってしまった	魚を焼くため、ガステーブルに火を点けたあと、隣室の居間に移動しソファに座っていたが眠ってしまい、居間に設置した住宅用火災警報器の音で目が覚めた。室内は煙が充満しており、ガステーブルのグリル排気口から炎が上がっていた。居住者が水道水で消火し、大事には至らなかったもの。
8	6	16:24	夕方	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	隣人	居住者が清掃したグリルを乾かすため点火し、そのまま外出したところ、グリル内から白煙が上がった。	居住者が調理のためグリルを清掃した後、乾かすためにグリルを点火し、そのまま外出した。その後、他の住人が住宅用火災警報器の音を聞き、確認のために音が鳴っている部屋に行くところ、鍵がかかっていたため、ドアを開けると白煙が出てきた。確認した住人は火事だと思い自室から通報した。
9	6	15:38	夕方	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	こんろ	隣人	都市ガステーブルのこんろ火により可燃物が着火	発見及び通報者は、自宅にいたところ、焦げた臭気を感じたこと、何かの警報音が鳴っている状況を確認したため、火災が発生したと思い、自宅の加入電話で119番通報したものである。
10	6	21:00頃	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	その他	その他	オープントースター内の調理物が燃焼したものの。	居住者の知人は便所内に居た際、住宅用火災警報器の鳴動が聞こえたため、便所を出ると室内に煙が漂っていた。台所のオープントースターから煙が噴出しているのを確認したため、当機器の扉を開けたところ、約20分前から焼き始めていたラスクが燃焼していた。直ちに玄関に設置していた消火器にて初期消火を実施し、消火に至った。
11	6	12:34	昼	戸建住宅	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	緊急通報システム	鍋を火にかけたまま、その場を離れた。	鍋を火にかけていることを忘れて煙で作業をしていると、台所の窓から「ピー、ピー…」と音が聞こえたので、家の中へ戻ると、居間の緊急通報システムの住宅用火災警報器が作動しており、安全センターから連絡を受ける。火や煙は見えなかったが、すぐにガスこんろの火を切り、焦げた鍋をシンクへ移動し水道水をかけたため、火災には至らなかった。

令和3年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59時まで）
 夕方（14：00から17：59時まで）、夜（18：00から21：59時まで）、
 深夜（22：00から1：59時まで）、早朝（2：00時から5：59時まで）

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所（鳴動場所）	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
12	6	9:00	朝	戸建住宅	煙式	脱衣所	就寝室	調査中	居住者	湯沸かし給湯器付ふろがまの排気筒	居住者は、自宅にいたところ、住宅用火災警報器が鳴っている状況を確認したため、原因を探したところ、湯沸かし給湯器に干していた、雑巾から火が上がっているのを確認し、自宅の加入電話で119番通報し、その後、布巾で手を覆い雑巾を洗面台に入れ、水で消火したものである。
13	4	1:30	深夜	アパート・マンション等	煙式	居間	その他（居間・不明を含む）	たばこ	居住者	たばこの不始末	居住者が就寝中、住宅用火災警報器の鳴動で目が覚め、居間から火が出ていることを確認し消火を試みるも失敗したため屋外へ避難、119番通報したものの。
14	7	11:40頃	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	就寝室	その他	居住者	電子レンジでサツマイモをラップで包み過加熱	居住者が、サツマイモをラップに包み台所の電子レンジで6分間の加熱を設定し、居間で子供のオムツ交換をしていたところ、就寝室の住宅用火災警報器が鳴動したため振り返ると台所が煙で充満していたため、119番通報をする。電子レンジの扉を開けたところ、電子レンジ内でさつまいもが焦げていたので、直ちに台所のシンク内にさつまいもを移動させ、水等は掛けずとも煙は収まった。
15	7	18:05	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	グリル内の油かすに着火	居住者は、魚を焼いたまま入浴し風呂場から出たところ、住宅用火災警報器の警報音が鳴っており、台所のH調理器のグリルから火が上がっているのを発見したものである。その後、風呂桶で浴槽の水を使用して、初期消火した。通報者は、出火者から自宅の加入電話に「火災警報器が鳴っているが自分は腰が痛くて止められないので、止めて欲しい」と連絡があり、玄関を開けたところ、煙が漂っていたため携帯電話で119番通報したものである。
16	7	4:15頃	深夜	アパート・マンション等	熱式	台所	台所	こんろ	居住者	コンロ上にて鍋の加熱放置	居住者は、ソーセージを茹でるため、片手鍋に水を半分入れ、3口ガスコンロにて加熱し、リビングのソファで横になり、就寝した。その後、台所に設けられた熱式の住宅用火災警報器の鳴動音により覚醒すると、部屋中に白い煙が漂っており、ガスコンロを見ると、片手鍋からもくもくと出ている白い煙を発見したことから、ガスコンロの火を消し、台所に設けている4型粉末消火器を使用。その後、4時22分、119番通報した。
17	7	13:17	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	就寝室	こんろ	隣人	鍋の空焚き	居住者が鍋を火にかけたことを忘れてしまい煙が発生、その後住宅用火災警報器が発報。鳴動理由がわからず近隣住民へ相談。近隣住民が駆けつけ空焚き状態の鍋を発見。すぐに火を止め消防機関へ通報したため火災に至らなかったもの。
18	8	17:45	夕方	戸建住宅	煙式	台所	就寝室	こんろ	居住者	点火したコンロから目を離しテレビを見ていたもの	夕食準備のため、鍋に入っていた少量の味噌汁を温めようとガスコンロに火をつけ、居間でテレビを見ていたところ、警報音が鳴った。原因がわからないため、向かいに住んでいる娘宅に行き状況を話し、娘夫婦が確認したところ住警器が鳴動しており、部屋が煙っていたため、119番通報した。義息子が確認したところガスコンロの火はセンサーの作動により消えており、鍋が焦げたのみでコンロ周辺、住宅内には焼損はなく、火災の危険性がないことを確認したものの。
19	8	6:58ころ	朝	戸建住宅	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	居住者	グリル内部に残った油に着火し出火したものの	自宅台所ガスコンロの魚焼きグリルから出火し、ガスコンロを焼損した。居住者が住警器鳴動音で火災を感知し、やかんのお湯で初期消火及び固定電話から119番通報を行った。
20	8	18:15	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	緊急通報システム	フライパンにて魚を焼いたままその場を離れたもの	家人がフライパンにアルミホイルを敷き、魚を焼いている最中にその場を離れていた間に魚が焦げて煙が発生。居間に設置していた煙感知器が作動。管理会社を通じて消防感知。家人が警報音に気づき台所に戻り火を止め火災に至らなかったものである。